

令和 2 年度 校長通信

立志だより



～笑顔の登校 満足の下校～
与那原町立与那原中学校
発行者 校長 東江功子

研究授業第12号

9 月 24 日（木）2 校時に 3 年 5 組で国語科の山内康宏先生による研究授業がありました。めあて：「俳句の言葉や表現に注目し、鑑賞文を書こう」



3 年生らしく落ち着いた雰囲気です。授業がスタートし、最初に前時の授業の振り返りや本単元のねらいをしっかりと音読しながら確認していました。その後、今テレビでも話題の「プレバト」の映像をモデルに俳句の鑑賞の仕方をイメージし準備をしていましたが、映像がなかなか映らないハプニング！しかし、山内先生は慌てることなく、プリント（資料）を活用してすぐに切り替えていました。また、生徒へ発問しながら本時のめあてを導き出し、「本時の授業の流れ」「何をやるのか」など生徒にイメージさせているところはさすが（授業改善アドバイザー）でした。

授業の中心は、俳句を一つ選び、鑑賞のポイントを参考に「言葉」に注目しながらその俳句の持つ情景、登場する人物像などをイメージしていく活動でした。机間指導でつまづいている生徒にも丁寧に関わっていて良かったです。映像のトラブルがあったので、振り返りでの生徒の発表の時間が少なかったのが残念でした。



高校入試説明会（3年）



9 月 24 日（木）の午後 3 時から体育館にて、令和 3 年度高校入試説明会がありました。例年は、親子一緒での説明会ですが、今年は、密を避けるために、体育館では保護者への説明を進路主任の比嘉麻奈美先生が行い、生徒へは各学級で担任の先生が説明するという方法に切り替えて実施しました。平日にもかかわらず多くの保護者の皆様が参加してくださり、感謝申し上げます。

本校から受験できる学校や各学校の定員、高校入試までの取り組み日程、必要なことや準備すべき物などについて確認しました。今後の事務手続きなど詳細は、生徒を通して指導していきます。不明な点等がありましたら、学級担任や進路担当へお尋ね下さい。

家庭学習を継続しよう



本校は、家庭学習ノートを配布し、年間一人「4 冊以上」を目標に取り組んでいます。毎日 1 ページ行くと 2 ヶ月で 1 冊、2 ページやると 1 ヶ月で 1 冊終了する計算です。家庭学習は、自分のために行うものであり、「自学学習」を身につけるにはとても効果があります。与えられた課題やプリントをするのではなく、自分にとって必要な学習を考えて取り組むことが求められます。授業の予習や復習をしたり、わからないところを重点的に学習するなど、「何をするか」考えて実践するところから始まるので効果大ですね。中学校では、世の中の「一般教養」の基礎を学んでいます。生徒の皆さん、自身の知識・教養を高めましょう！現在、校長室には、約 1 2 0 0 冊の家庭学習ノートがありますが、今年中に全部無くなることを期待しています！ Fight(*^O^*)



